

Information

第2回 PX フォーラム

日時▶11月2日(土)11:00~17:30

会場▶秋葉原 UDX Theater room (東京都千代田区)

プログラム▶講演1「PX 概論と海外・日本の取り組み状況」曾我香織(日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会)／講演2「日本版 PX サーベイの分析手法」斎藤恵一(国際医療福祉大学)／講演3「PXE 養成講座概要」安藤潔(日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会、東海大学)／講演4「PXE 養成講座に参加して」松本卓(大宮在宅クリニック)、濱田浩美(北海道大学)／パネルディスカッション1「急性期病院における PX サーベイ実施時のポイントと有用性とは」安藤潔、西本祐子(国立病院機構九州医療センター)、引田紅花(前橋赤十字病院)、古川幸治(稲波脊椎・関節病院)／パネルディスカッション2「患者にとって PX とは何か」安藤潔、花木裕介(ティーベック)、藤井弘子(日本ペイシエント・エクスペリエンス研究会)／事例紹介「40 病院における HCAHPS 実施事例」後藤俊男(日本ホスピタルアライアンス)／「急性期病院における日本版 PX サーベイ実施と改善事例①」西本祐子／「急性期病院における日本版 PX サーベイ実施と改善事例②」引田紅花／「急性期病院における日本版 PX サーベイ実施と改善事例③iPad を用いて」古川幸治／「在宅医療における PX サーベイ実施事例①」講内源太(いわきケアフォレスト訪問看護ステーションアクティホーム)／「在宅医療における PX サーベイ実施事例②コーチングを用いた PX 改善」齋藤貴之(こばやし歯科クリニック)／ランチョンセミナー「医療マネジメントにおける PX の重要性」真野俊樹(中央大学)ほか
対象▶医療従事者、ヘルスケア関連企業関係者など

参加費▶会員(個人・法人) 6500 円、一般 9000 円

申込方法▶下記ホームページの申込フォームより

問い合わせ先▶日本ペイシエント・エク

ペリエンス研究会

✉ info@pxj.or.jp

https://www.pxj.or.jp/pxforum-2019/

第32回日本疼痛心身医学会

日時▶11月9日(土)

会場▶日本教育会館第3会議室(東京都千代田区)

プログラム▶特別講演1「フレイルからの脱却—動きたくなるカラダと動けるココロ」天川淑宏(東京医科大学八王子医療センター)／2「脾臓病をめぐる、おなかの痛み？」今泉俊秀(八王子消化器病院)／3「糖化ストレスと炎症・疼痛」米井嘉一(同志社大学生命医科学部糖化ストレスセンター)／シンポジウム「慢性疼痛の集学的治療」中野良信(蒼生病院)、木曾晃(こぐれ理学診療クリニック)、喜山克彦(喜山整形ハーブクリニック)、橋本裕子(千代田国際クリニック)／市民公開講座「慢性疼痛(線維筋痛症)の集学的治療—チーム医療の視点から」永田勝太郎(千代田国際クリニック)／国際全人医療研究所

参加費▶会員 7000 円、非会員 9000 円、学生 3000 円

*市民公開講座は無料

問い合わせ先▶国際全人医療研究所内学会事務局

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町 11-8 SK 美土代町ビル 5F

☎ 03-5577-6841

☎ 03-5577-6842

✉ ifcm@nifty.com

https://www.compmed.jp/

第14回医療の質・安全学会 学術集会

日時▶2019年11月29日(金)~11月30日(土)

会場▶国立京都国際会館(京都市)

テーマ▶「レジリエンスの探求—つながり、共創、イノベーション」

主要プログラム▶海外招請講演(全て通訳

あり、講演タイトルは仮題を含む)「レジリエント・ヘルスケア・マネジメント：概観と展望」Erik Hollnagel(ヨンショピン大学医療福祉大学院)／「医療は日々改善：実践し論文化しよう」Cat Chatfield(BMJ 医療の質改善担当エディター、英国総合内科医)／「オリンピック大会中の選手に対する医学的・薬学的なケアを改善する」Mark Stuart(国際オリンピック委員会[IOC] 医科学部会、国際アンチドーピング機構[WADA] 禁止薬物リスト委員会)／「在宅ケアにおける系統的観察とコミュニケーションアルゴリズム」Line Hurup Thomsen(ログランド高齢者介護施設・在宅ケア開発センター、高齢者医療専門看護師)／「患者参加」のイノベーション：協働型意思決定の全国キャンペーン」王拔群(台湾医療機能評価機構、天主教輔仁大学医学校)／「レジストリーを用いた医療の質改善—スウェーデンの経験から」Johan Thor(ストックホルム・ゴットランドヘルステクノロジーアセスメント委員会、ヨンショピン大学健康福祉改善アカデミー)／国内招請講演(講演タイトルは仮題を含む)「循環器医療の Futurability—リスクを超えて未来医療に挑戦する—」澤芳樹(大阪大学大学院外科学講座心臓血管外科)／「多様な社会を支える IoT 技術」坂村健(東洋大学情報連携学部[INIAD])／「JR 東日本のオープン・イノベーション」小縣方樹(東日本旅客鉄道)／「次世代医療の展望—Medicine for Humanity」武部貴則(横浜市立大学コミュニケーション・デザイン・センター、東京医科歯科大学総合研究機構、シンシナティ小児病院消化器部門・発生生物学部門)／「食事と健康と幸福」土井善晴(料理研究家)

参加費▶当日登録：会員・賛助会員 1 万 4000 円、非会員 1 万 6000 円、学生 2500 円、懇親会費 2000 円(学生は無料)

問い合わせ先▶第14回医療の質・安全学会学術集会運営事務局

株式会社コンベンションリンケージ内

〒531-0072 大阪市北区豊崎 3-19-3 PIAS TOWER 11F

☎ 06-6377-2188

✉ 14jsqsh@c-linkage.co.jp

http://www.c-linkage.co.jp/14jsqsh/

2020 年度木村看護教育 振興財看護研修等助成募集

◎海外看護研修助成

研修先▶メイヨークリニック（米国ミネソタ州ロチェスター）

応募資格▶次のいずれにも該当する者

- 1) 日本在住で看護師・助産師・保健師のいずれかの資格を持っていること
- 2) 看護実務経験が5年以上あり、現在、臨床の現場に従事していること
- 3) 心身ともに健康であること
- 4) 関係所属長の推薦があること
- 5) TOEIC600点以上、TOEFLの所定の点数（CBT173点以上またはIBT61点以上）またはIELTS5.0点以上を持っていること

*研修には通訳は付かないので、日常会話と看護の専門分野の英語力が必要

募集人員▶10名

研修方法▶研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学による研修

研修時期・期間▶2020年9月中旬から渡航日数を含めて約3週間

助成範囲▶研修費、宿泊費、羽田空港発着の往復渡航費

応募方法▶下記ホームページより、「2020年度 海外看護研修助成申込書」をダウンロードし、必要事項を記入の上、本財団に郵送。応募資格5)に記載している英語力を示すスコア証明書の写しを同封すること
*選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒（84円切手貼付）を同封のこと

申込締切日▶2020年1月23日(木)必着

選考結果▶3月下旬に通知

◎看護研究助成

助成対象▶看護の質的発展・充実が期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの。共同研究歓迎

2020年度助成する研究の分野▶基礎看護・成人看護・老年看護・小児看護・母性看護・精神看護・地域看護・在宅看護・看護管理・看護教育・その他

応募資格・要件▶

1) 日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人、または前者を共同研究者に含むグループ

*上記の要件を満たしていない場合は受け付けない（名前だけの看護職者の共同研究者は認めない）

*教員・大学院生のための申し込みは対象としない

2) 倫理的に許される研究であること

3) 関係所属長の許可・推薦があること

4) 研究の成果は関係学会へ発表すること

助成金額▶1件につき100万円を限度

助成金の使途および報告▶

(1) 助成金の使途には、研究協力者経費、旅費交通費、調査費、資料・印刷費、会議費、通信・運搬費、機器・備品費、消耗品費等を含む。ただし、給与形式の人件費は対象から除外（ホームページの別紙「研究助成費目一覧」参照）

*助成金は年度を超えて支出してもかまわない

(2) 助成金の使途については、正規の報告書とともに報告してもらう。なお、必要に応じて領収書等を添えて詳細な報告をしてもらうことがある

応募方法▶下記ホームページの「2020年度 看護研究助成申込書」に必要事項を記入の上、本財団へ郵送

*選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒（84円切手貼付）を同封のこと

申込締切日▶2020年1月23日(木)必着

選考結果▶3月下旬に通知

助成金の贈呈▶6月中旬予定

*助成が決定した研究の代表者は後日「助成金交付請求書」を提出

研究成果の報告▶研究の成果および助成金の使途状況について、2021年9月30日までに本財団所定の様式により報告。研究成果は、2022年7月頃に発行予定の「木村看護教育振興財団—2020年度看護研究助成事業—『看護研究集録29号』」に掲載。本研究の成果を関係学会等に発表する際には、公益財団法人木村看護教育振興財団助成による研究である旨を明記のこと。

また、研究報告書の学会誌等への投稿は、当財団の看護研究集録28号に掲載し発行された後で行うこと

◎専門看護師（CNS）奨学金

募集分野▶2019年9月時点で公益社団法人日本看護協会専門看護師制度委員会が特定している次の13専門看護分野について募集（がん看護、精神看護、地域看護、老人看護、小児看護、母性看護、慢性疾患看護、急性・重症患者看護、感染症看護、家族支援、在宅看護、遺伝看護、災害看護）

支給対象者▶看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程2年コースの2年次進級予定者で、次の1)・2)を満たしている者

1) 大学院は、日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学の当該課程に在籍している者

2) 臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給額▶年額60万円

支給期間▶1年間（4月から翌年3月まで）

支給条件▶看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で2021年3月に同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求める

奨学金申請手続きに必要な書類：

- (1) 本人記載の申請書
- (2) 専門看護師としての将来展望、抱負
- (3) 1年次前期の成績証明書
- (4) 指導教員の推薦書
- (5) 3年以上の実務経験（全て）を証明する書類

* (2) の書面の様式は自由。ワープロ1200字程度を上限にA4版で記載すること

* (3) (4) についてはそれぞれ封印されたものを同封すること

* (5) については下記ホームページより必要用紙等をダウンロードして使用のこと

* 要綱、応募用紙は下記ホームページ申請書申込フォームよりダウンロードして使

用のこと

*選考の結果を通知するため、申込者の住所、氏名を記入した返信用封筒（84円切手貼付）を同封のこと

奨学金受給者の事後報告義務等▶

証明に関するものは、その都度速やかに提出すること

- ①大学院修士課程、専門看護師教育課程の修了を証明するもの
- ②専門看護師の認定を証明するもの
- ③就業先の在籍を証明するもの
- ④氏名や住所等の変更

申込締切日▶2020年1月23日(木)必着

選考結果▶3月下旬に通知

【以下共通】

問い合わせおよび申込書送付先▶木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14-8階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

<http://www.nurseed.jp/>

**看護職の採用と定着を考える会
2020年診療報酬改定対応の
具体的な戦略・戦術セミナー**

日時▶2020年3月15日(日)13:30~17:00

会場▶富士ソフトアキバプラザ6F セミナールーム1（東京都千代田区）

テーマ▶看護職にフォーカスした2020年診療報酬改定対応の具体的な戦略・戦術セミナー——看護職関連項目の変化とその対応を徹底解説

プログラム▶講演1「2020年改定の全貌と看護職がやるべきこと」工藤高（MMオフィス、看護職の採用と定着を考える会）／講演2「診療報酬改定のココがポイント！看護業務の変わるところ」上村久子（メディフローラ、看護師）

参加費▶一般2万円、会員1万円（ともに税込）

定員▶先着120名

申込方法▶WEBサイト <https://rsn-kango.com/研修/20200315/>の申込フォームから

問い合わせ先▶一般社団法人看護職の採用と定着を考える会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-15 B棟-1

☎ 03-6457-7714